

■ 現状と課題

- ・様々な地域活動が実施されている中で、参加者を増やすためには関心を持ってもらうことが必要です。活動内容への興味関心の高さが参加人数に反映されています。年代や性別を問わず、活動内容について「分からない」ことが不参加の大きな理由となっています。
- ・地域活動には、時間や期間等の選択肢の多さ、場所の身近さなどが求められています。
- ・地域活動に取り組む団体の多くでは、活動資金の安定的な確保や担い手の高齢化に伴う後継者探しが課題となっています。

■ 地域での取り組み

- ・自身の得意な分野や体験を生かし、「自分のできること」で活動に取り組みます。
- ・ネリーズに登録し自身の取り組みを地域に発信します。
- ・他のネリーズとも交流する中で多様な活動の取り組み方についてのアイデアを得ます。
- ・これまでの地域活動や新しい活動が地域に根付くよう取り組みます。
- ・町会の回覧板や掲示板、公共施設へのポスター掲示などに加え、SNSなども活用することで、様々な団体の幅広い活動情報をより多くの人に届けます。

■ 練馬区社協の取り組み

- ・ボランティア活動、地域活動についての相談や体験、講習などの機会を、多様な世代や状況の人が参加しやすい場所や時間帯を設けるなどして、活動への一歩が踏み出しやすくなるよう取り組みます。
- ・ネリーズ通信の発行やネリーズ 交流会の定期的な開催、SNSの活用などを通じて、様々な活動の形や取り組みのアイデアを得る機会を設け、活動者や活動の理解者を増やしていくことで、地域活動を活性化します。
- ・地域活動団体同士が理解し合い、つながり合える機会を地域福祉コーディネーターが継続的に設けていくことでネットワークを強化し、ねりま社会福祉法人等のネットの活用も含め多様な社会参加の場を整えます。

目指す姿

参加する人、参加する場、
参加を応援する人が増える



地域でこんな取り組みが
広がっています

様々な参加のかたち

～知りたい・やりたい・出会いたい・つながりたい～

きっかけはちょっとした気持ちの変化。入口はちょっとした関心。地域では様々な思いや関心を持ち活動している人たちや団体があります。その気持ちを受け止め、大切にできる地域を目指します。

だれもが何かができる場所！
入り口は「ちょっとした参加」
ネリーズ交流会



地域には、近くの人たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守り合っているネリーズがいます。地域の良いところや一緒にやってみたいことを気軽に話せる場「ネリーズ交流会」ではちょっとした気になることや気づきを語り合っています。ネリーズの輪が続々と広がっています！

そこに行くと人がいる！花がある！
「たのしく続けられるかな？」
きらら 花くらぶ

花が好き！図書館や
つつじ公園の花壇
きれいだな



参加はいつでも
だれでも大歓迎！
花たちとの
おしゃべり



参加者同士の
出会い・交流
そこに行くと
役割がある！
仲間がいる！



様々なボランティア・地域活動をコーディネート (練馬ボランティア・地域福祉推進センター)

練馬ボランティア・地域福祉推進センターには、「地域で力になれることを何かしたい」地域住民や「地域活動と一緒に取り組む仲間がほしい」活動団体などから、地域活動に関する相談が寄せられます。現在活動しているみなさんの活動をはじめたきっかけはさまざま。そして、地域には誰かのためになって、自分のためにもなる活動もさまざまです。

練馬ボランティア・地域福祉推進センターでは、地域で活動する団体や施設等と顔の見える関係を生かして、誰もが参加できる地域活動の場を広げています。

相 談

練馬区内に4か所あるボランティア・地域福祉推進センター・コーナーで活動に関する相談を受けています。

講座・報告会

ボランティア活動の基本的な理解や活動を始めるきっかけになる講座や地域活動の報告会を開催します。

ボラセンゼミ

ボランティア講座などの修了生が定期的に集い、地域の関心事や活動について意見交換の場を作っています。